

学校だより



市川市立平田小学校

いなほ
稲穂

学校教育目標
夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.6

R 6年6月10日

校長 蜂須賀 久幸



～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～



平田小学校「まるごと図書館」の実現に向けて

昨年度の3学期後半より、給食の放送時間帯を使って全校に向けて放送語り聞かせを行っています。コロナ前まで行われていた、毎月の全校朝会が姿を消して、子供たちに私の思いを投げかける機会がなくなってしまったことが一つの理由です。もう一つは、本やお話が好きな児童を増やしたいという願いがあるからです。本を手にとって文字を追うことは苦手でも、耳から入ってくる話ならば興味をもつとともに楽しめるのではないかと考えたから…。今年度になってからも2週に一度のペースで放送語り聞かせを行っています。

そこで、5月下旬に5,6年生を対象として挙手アンケートを実施しました。その結果は次のとおりです。

(1) 本を読むことや読み聞かせ(語り聞かせ)は好きですか？

とても好き(39%) まあ好き(49%) あまり好きでない(11%) 嫌い(1%)

(2) 給食配膳中の放送で行う校長の語り聞かせをどんな気持ちで聞いていますか？

ぜひ続けてほしい(72%) どちらかというが好き(23%) 興味がない(2%)

意外に本好きな児童が多い(88%)ことがわかります。ですから、きっかけや周囲の環境、働きかけによって読書活動がより活発になることが予想されます。一方、昨年度12月実施の保護者学校評価で「お子さんは、進んで読書活動に親しんでいるか」という設問に対する肯定回答が59.3%でした。この数値は、例年60%前後で大きな変化はありません。同様の質問を児童に向けてしたアンケートでは、やはり肯定回答は66.0%に止まります。司書教諭や学校司書とも連携しながら、この課題解決に向けて取り組みますが、なかなか数値的な改善は見られません。そういう意味で、先のアンケート結果にヒントが隠されている気がしてなりません。



様々な本との出会いの場を提供すれば、読書習慣を形成するとともに、本を読むことが好きになるかもしれません。延いては、読解力にも長けた児童の育成もねらって、「まるごと図書館計画」を進めようと考えています。校舎内の様々なスペースに図書コーナーを設けて、児童が好きな本を手にとれるようにするというもの。こうすることで、図書室だけでなく、好きな時に好きな場所で好きな本を読める環境になればしめたものです。

(1) 図書室以外にどんな場所を考えているの？

学級文庫のほか、第2校舎2F・3Fの展示スペースや3階から屋上へ上がる階段踊り場(階段に腰かけても読める)などが考えられます。図書をどのように収めるかは課題ですが、椅子や閲覧机などを設置することも考えられます。最初はあまり手を広げすぎないようにしようと考えます。

(2) まるごと図書館は児童だけが対象なの？

保護者や地域の方向けにも「大人図書コーナー」を設けたいと計画中です。マルチルーム後方のスペースを利用して本を貸し出すほか、児童の見守りやふれあいのきっかけ・起点にもしたいと考えています。



(3) どうやって貸し出しや管理をするの？

詳細はまだまだこれからですが、人の手による貸し出しや管理は行わず、良心に任せた管理と整頓を基本にして、できることから始めたいと思います。

(4) どうやって本を集めるの？

図書室の蔵書は、市の予算の範囲内で購入していますから、買い集めることは叶いません。教職員の各家庭には、読まなくなった図書や絵本などはあるけれど、捨てるに捨てられないで本棚の肥やしになっている場合があるかもしれません。また、保護者や地域の方にも呼びかけて、児童書や百科事典、図鑑、単行本・文庫本など、寄付していただこうと思います。一度読んだだけで本棚にしまわれるより、よい本を多くの人で読めたらその価値は何倍にも膨れ上がります。

中山博恵 学校司書には『ひらたっ子読書チャレンジ 100』という、学年別のお薦め本 100 冊を選書してもらいました。20 冊読むごとにシールがプレゼントされ、100 冊読破したら校長から賞状を渡せるようにします。普段読まないジャンルを手に入る機会ですし、読書の幅が広がるチャンスです。とても意欲的な様子で、今後児童の要望や声にも耳を傾けたいと考えています。

「学校まるごと図書館」にしる「読書チャレンジ」にしる、できることから進めていきます。来週 17 日(月)から、初夏の読書週間も始まります。



評価項目	
お子さんについて	① お子さんは、友だちと「お互いの良さを認め合う」ような関係づくりができていますか。
	② お子さんは、目標をもって学習したり生活したりしていますか。
	③ お子さんは、調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味をもって学習に取り組んでいますか。
	④ お子さんは、日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしていますか。
	⑤ お子さんは、毎日の学習でタブレットを活用していますか。
	⑥ お子さんは、家庭学習の習慣が身についていますか。
	⑦ お子さんは、運動やスポーツに親しんでいますか。
	⑧ お子さんは、望ましい食習慣が身についていますか。
	⑨ お子さんは、自己肯定感あるいは自信が高まっていると思いますか。
学校について	⑩ 学校は、保護者や地域の方々と共に、子どもを育てる取り組みを進めていると思いますか。
	⑪ 学校は、一人一人のニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っていると思いますか。
	⑫ 学校は、体験活動を取り入れていると思いますか。
	⑬ おたよりやメール、学校HP等で適切に情報提供を行い、保護者・地域に理解されるように努めていると思いますか。
	⑭ 学校は、児童とともに清掃活動や環境美化に力を入れて、きれいな学校づくりに努めていると思いますか。

学校評価の項目が、今年度から変わります

市川市教育振興基本計画が第四期に入った今年度、評価項目の見直しが図られました。黒丸数字の4つは、学校独自の評価項目ですが、それ以外は市内公立小中学校共通の項目です。

今月末頃に、実施に係るおしらせをします。また、昨年度までと同様、十二月に第2回目を実施する予定です。少し早めですが、評価の視点をお知らせしますので、意識して教育活動を見ていただけたら幸いです。また、保護者評価と同様の内容で、5・6年生児童にもアンケートを行うこともご承知おきください。